

令和5年度
朝日山地森林生態系保護地域巡視員会議
(秋季)



日 時: 令和5年 11月 25日(土)
13時 15分~15時 15分
場 所: 朝日中央コミュニティセンター(すまいる)

東 北 森 林 管 理 局
庄 内 ・ 山 形 ・ 置 賜 森 林 管 理 署
朝 日 庄 内 森 林 生 態 系 保 全 セ ン タ ー

会議次第

日時場所：令和5年11月25日(土) 13時15分～15時15分
朝日中央コミュニティセンター（すまいる）大集会室

- | | | |
|---|--------------------------------|-------|
| 1 | 開 会 | 13:15 |
| 2 | 挨拶 | |
| 3 | 出席者紹介 | |
| 4 | 議 題 | |
| | (1) 令和5年度巡視活動結果等 | 資料1 |
| | ①巡視員活動結果報告について | |
| | ②合同パトロールについて | |
| | (2) 報告事項 | |
| | ①森林生態系保護地域における看板の保守について | 資料2 |
| | ②朝日山地保全作業（植生保護作業）について | 資料3 |
| | ③マツノクロホシハバチの対応について | 資料4 |
| | ④オオハンゴンソウの対応について | 資料5 |
| | ⑤森林生態系保護地域内の人工林から天然林への誘導手法について | 資料6 |
| 5 | 質疑応答（意見交換） | |
| 6 | その他 | |
| | (1) 入山者調査結果 | 資料7 |
| 7 | 閉 会 | 15:15 |

朝日山地森林生態系保護地域巡視員会議出席者名簿

(順不同、敬称略)

団 体 名	氏 名	備 考
出羽三山の自然を守る会	長南 厚 佐久間 憲生	(2名)
山形県山岳連盟	鈴木 俊一 堀 啓三	(2名)
山形県溪流釣り協議会	鈴木 正 斎藤 篤 渡辺 和春	(3名)
西川町大井沢区		(欠席)
山形県猟友会	伊藤 孝紀 伊藤 比呂貴	(2名)
山形県内水面漁業協同組合連合会	菊地 隆	(1名)
鶴岡市朝日庁舎	長南 均 白幡 浩朗	(2名)
小国の自然を守る会		(欠席)
		(巡視員 計12名)
環境省東北地方環境事務所 羽黒自然保護官事務所		(欠席)

役 職 等	氏 名	備 考
東北森林管理局 計画課長	松井 章二	
東北森林管理局 計画課 森林施業調整官	後藤 昭吾	
山形森林管理署 森林技術指導官	大戸 剛	
庄内森林管理署 森林技術指導官		(欠席)
置賜森林管理署 森林技術指導官	芦野 進	
朝日庄内森林生態系 保全センター 所長	中嶋 一	
朝日庄内森林生態系 保全センター 主任主事	南澤 望	
朝日庄内森林生態系 保全センター 主事	工藤 柊也	

(1) 巡視活動結果等

①巡視活動結果報告について

1 保存地区に関する事項

巡視箇所	回数
小朝日岳周辺	1
大朝日岳周辺	2
朝日連峰朝日俣沢	1
オツボ峰	1
狐穴小屋	1

- ・ 8月14日(月) 古寺鉱泉～小朝日岳巻道で登山道が雨水による洗堀により大きな段差になっているところにヤシロールを設置し、土留め効果と段差解消を行った(小朝日岳周辺1)

山形県山岳連盟 (堀啓三)

- ・ 9月2～3日(土～日) 日暮沢口から入山し、三方境及び中先峰の合同保全作業に参加した。(狐穴小屋1)

小国の自然を守る会 (井上邦彦)

- ・ 9月3日(日) 大朝日岳～山頂並びに金玉水付近沿いでマツノクロホシハバチによるハイマツの食害は見られなかった。(大朝日岳周辺1)

山形県山岳連盟 (堀啓三)

- ・ 9月12日(火) 朝日連峰朝日俣沢・黒俣沢

資料 1

局技術普及課で実施している溪流魚調査へ同行しパトロールを行った。
違法な釣りの痕跡及びたき火跡は無かった。（朝日連峰朝日俣沢 1）

（山形県溪流釣り協議会（鈴木正）及び局技術普及課）



溪流魚調査（9月12日）（局技術普及課）



溪流魚調査（9月12日）（局技術普及課）

- ・ 9月23～24日（土～日） 泡滝ダム～大鳥池～オツボ峰（植生保護のための歩道規制作業及び合同パトロール）（オツボ峰 1）
（山形県山岳連盟堀啓三氏、環境省羽黒自然保護官事務所、庄内森林管理署及び朝日庄内森林生態系保全センター）

- ・ 10月3～4日（火～水） 古寺鉱泉～ハナヌキ峰～大朝日岳避難小屋
令和5年度のマツノクロホシハバチの調査を行った。
マツノクロホシハバチは、確認されなかった。（大朝日岳周辺 2）
（朝日庄内森林生態系保全センター）



ハイマツ（10月3日）（朝日センター）



ハイマツ（10月3日）（朝日センター）

2 保全利用地区に関する事項

巡視箇所	回数
鳥原山	2
泡滝ダム	3
大鳥池	1
小朝日岳周辺（古寺山）	2
朝日連峰黒俣沢	1
朝日鉱泉周辺	1
針生平	1
祝瓶山	1
長井葉山	1

- ・ 泡滝ダム上流の、毎年崩れる登山道が樹木（木材）等で補強され、歩きやすくなっておりよかった。（泡滝ダム1）

出羽三山の自然を守る会（長南厚）

- ・ 5月27日（土） 朝日町地内朝日岳外49国有林29ち林小班において「オオハンゴンソウの除去作業」を行った。（朝日鉱泉1）

山形県山岳連盟（仁科友夫）

- ・ 6月18日（日） 白滝～鳥原山 登山道の状況確認を行うとともに朝日連峰山開きに参加した。（鳥原山1）

小国の自然を守る会（井上邦彦）

- ・ 6月18日（日） 古寺鉱泉～畑場峰～鳥原小屋
朝日連峰夏山開きがあり、古寺鉱泉から朝日嶽神社まで登り参加した。山頂周辺には少し残雪あり。（鳥原山2）

（朝日庄内森林生態系保全センター）

資料 1



朝日連峰夏山開き（6月18日）（朝日センター）



朝日連峰夏山開き（6月18日）（朝日センター）

- ・ 6月19日（月） 古寺鉱泉～古寺山間で登山者がストックのキャップを着けていなかったの、聞いたところ紛失したとのことで、私の予備キャップを上げ、登山道を大事にするよう呼びかけ、啓発を図った。（古寺山1）
山形県山岳連盟（堀啓三）
- ・ 7月15～16日（土～日） 針生平～大石沢小屋 前年の豪雨で氾濫した大石沢の状況を確認するとともに、杉小屋の補修を行った。（針生平1）
小国の自然を守る会（井上邦彦）
- ・ 7月22日（土） 祝瓶山山荘～桑住平～山頂～赤鼻分岐登山道整備。
その際、6月末に発生した遭難事案を踏まえ、山頂付近の岩場に下山時でも確認できるように赤ペンキ表示を付けた。（祝瓶山1）
山形県山岳連盟（鈴木俊一）
- ・ 8月16日（水） 古寺鉱泉～古寺山間登山道で排水溝の土砂を取り除く作業を数か所行い、雨水を登山道に流入させないよう作業を行った。（古寺山2）
山形県山岳連盟（堀啓三）
- ・ 8月22日（火） 泡滝登山口登山道の状況確認を行った。（泡滝ダム2）
小国の自然を守る会（井上邦彦）
- ・ 8月28～29日（月～火） 前年の豪雨で破損した登山道の補修を行った。
小国の自然を守る会（井上邦彦）
- ・ 10月7日（土） 葉山森林公園～葉山山荘～勸進代分岐～葉山森林公園（合同パトロール）（長井葉山1）
（山形県山岳連盟堀啓三氏、置賜森林管理署及び朝日庄内森林生態系保全センター）

資料 1

- ・大鳥池東沢で、10月にイワナの産卵場を整備した。環境省羽黒事務所に相談し、「軽微な変更」の範囲内での整備を実施した。（大鳥池1）

出羽三山の自然を守る会（長南厚）

- ・10月12日（木）泡滝ダムでの工事による水の濁りについて朝日センターに連絡、すぐに対応してもらった。（泡滝ダム3）

出羽三山の自然を守る会（長南厚）

3 隣接地区等に関する事項

- ・7月1日（金）月山八合目駐車場～仏生池小屋～大峰～月山神社（月山山頂）月山開山祭 登山道は、残雪ありアイゼンが必要。

（朝日庄内森林生態系保全センター）



月山開山祭（7月1日）（朝日センター）



月山開山祭（7月1日）（朝日センター）

- ・9月17日（日）月山国立公園地内において、登山道の保全状況の点検を実施した。

山形県山岳連盟（仁科友夫）

- ・10月18日（水）八久和ダム周辺ではブナの実が凶作のためかツキノワグマの目撃はなく、食害、フンも確認はできなかった。

山形県猟友会（伊藤孝紀）

- 10月29日（日）摩耶山倉沢口登山道整備の際に登山口入り口駐車場に家電製品の投棄物が置いてあるのを発見した。※鶴岡市朝日庁舎へ報告済み。

山形県猟友会（伊藤孝紀）

②朝日山地合同パトロールについて

1 泡滝ダム～オツボ峰～以東岳コース（植生保護のための歩道規制作業）

○実施日：令和5年9月23日（土）～24日（日）

○参加者：山形県山岳連盟	1名
環境省東北地方環境事務所羽黒自然保護官事務所	1名
庄内森林管理署	3名
朝日庄内森林生態系保全センター	3名

○パトロール結果

- ・ 合同パトロール中には、登山者にマナーガイドを配布した。
- ・ ゴミの投棄及び高山植物の盗掘の異常も見られませんでした。
- ・ 保存地区小看板について、設置更新を実施。（No. 5）
- ・ オツボ峰の風衝地において、植生保護のための歩道規制作業を実施した。



入山者へのマナー啓発活動



マナーガイド配布



植生保護作業の様子



巡視状況

2 古寺鉱泉～大朝日岳コース（マツノクロホシハバチ調査）
（悪天候のため中止）

○実施予定日：令和5年9月28日（木）～29日（金）

3 長井葉山周回コース

○実施日：令和5年10月7日（土）

○参加者：山形県山岳連盟 1名
置賜森林管理署 3名
朝日庄内森林生態系保全センター 3名

○パトロール結果

- ・土曜日であったが天候もあまりよくなく、登山者はいませんでした。
- ・ゴミの投棄及び高山植物の盗掘の異常も見られませんでした。
- ・保全利用地区の小看板について、設置更新を実施。（No. 21）



葉山登山口（白兔コース）



巡視状況



登山道標識（勸進代分岐）



葉山登山口（勸進代コース）

(2) 報告事項

①森林生態系保護地域の標示看板について

1 森林生態系保護地域の区域標示看板（小看板）について

今年度もGPS端末を用いて設置場所の確認や取り付けロープの結び直し、設置更新など、点検補修作業を行いました。



No. 5 オツボ峰コース上（9月23日撮影）



No. 21 葉山山荘付近（10月7日撮影）

2 森林生態系保護地域の説明看板（大看板）について

今年度も5基の組立式看板の設置と撤去等を行いました。（うち1基は置賜森林管理署が設置と撤去を行いました。）

写真は、愛染峠の据付型の大看板と日暮小屋駐車場の組立式看板の状況を撮影したものです。

据付型については、愛染峠にある大看板については、腐朽がひどくなっていることから、撤去予定。（案内板については、撤去済み）

その他大看板については、コケに覆われているものもありますが基礎はしっかりしている状態です。



愛染峠（10月12日撮影）



日暮小屋駐車場（6月8日撮影）

朝日山地森林生態系保護地域表示看板(小看板)の設置状況

【R5年11月24日現在】 資料2(表1)

朝日庄内森林生態系保全センター

No	市町別	設置箇所	林小班	区域表示名		R6年度 実施予定	R5年度実施状況			直近の状態把握		備考	GPSデータ(デジタルカメラ付属機器)測地系WGS-84				
				保存	保全利用		確認	不明	摘要	点検状況	補修状況		北緯(緯度)	東経(経度)	写真	測位日	
1	鶴岡市	八久和ダム車止め付近:八久和ダム堤体を渡り設置	78の		○					R4.6.7設置	R4.6.7設置	R3.10.27八久和ダム堤体までは通行可能 月山ダム方面からは通行止め(堤体を渡り設置)	38°30' 38"	139°52' 28"	○	R4.6.7	
2	鶴岡市	八久和川入り口付近:コンクリート橋を過ぎて設置	89い		○					R3.10.27(橋崩落の為 林道通行不可)	H29.8.22補修	林道橋崩落の為、通行不可	38°28' 44"	139°50' 41"	○	H28.5.31	
3	鶴岡市	東大鳥川チウノ沢向116林班界:車待避場所の立木に設置	116ぬ		○		○	R5.6.7点検		R5.6.7点検	R4.6.7&設置更新	豪雨災害により隣立木へ移動させた	38°26' 4"	139°48' 4"	○	R4.6.7	
4	鶴岡市	大鳥池～以東岳直登コース	114イ	○				点検・補修	×	確認できず	R3.8.8設置更新	H29.9.30更新		38°21' 09"	139°50' 7"	○	R2.9.8
5	鶴岡市	大鳥池～オツボ峰コース	114イ	○			○	点検・補修		R5.9.24設置更新	R5.9.24設置更新	H29.9.20補修		38°21' 47"	139°50' 11"	○	R2.9.8
6	西川町	大井沢川水場付近	93い		○									38°23' 10"	139°57' 00"	○	H27.9.24
7	西川町	大井沢川(1196m大クビト山付近)	93イ	○										38°23' 41"	139°55' 51"	○	R2.10.10
8	西川町	大井沢川焼峰付近	93は		○									38°22' 27"	139°56' 41"	○	R2.10.10
9	西川町	大井沢川粟畑手前	93ほ	○										38°22' 16"	139°55' 52"	○	R2.10.10
10	西川町	大井沢川粟畑手前	93ほ		○									38°22' 16"	139°55' 52"	○	R2.10.10
11	西川町	日暮沢小屋付近	81に		○			○		R5.9.29移動	R5.9.29移動	R4.6.9点検	No.9, 10同一箇所に 設置 林道路線変更に伴い 沢の手前に設置	38°14' 16" 79	139°56' 35" 56	○	R5.9.29
12	西川町	清太岩手前(1226m山付近)	80イ	○										38°18' 32"	139°55' 22"	○	H27.11.4
13	大江町	小朝日岳付近(古寺山との尾根)	80ハ	○				補修						38°16' 28"	139°56' 42"	○	H28.6.22
14	朝日町	白滝コース小朝日岳直下付近	27ほ	○				設置更新						38°16' 14"	139°57' 13"	○	H28.6.22
15	大江町	畑場峰付近	52ろ		○			設置更新	×	R5.6.18確認	R3.7.15設置更新	R2.8.5看板修繕	R6年度交換予定	38°17' 17"	139°58' 48"	○	R2.8.5
16	大江町	古寺鉱泉駐車場	51か2		○					R5.10.3点検	R5.10.3点検			38°18' 14"	139°58' 19"	○	H25.6.16
17	朝日町	ナカツル尾根ルート二俣付近	26い	○										38°15' 5"	139°57' 41"	○	R2.9.17
18	朝日町	御影森コース大沢峰付近	24ハ	○										38°14' 15"	139°55' 48"	○	R4.10.13
19	朝日町	白滝林道分岐手前の小沢(林班界)	32い		○									38°16' 18"	140°00' 34"	○	R4.5.28
20	朝日町	頭殿山から朝日鉱泉方面約1.2km付近	13は		○									38°14' 29"	140°00' 45"	○	R3.9.10
21	長井市	葉山山荘付近	264に		○			○		R5.10.7設置更新	R5.10.7設置更新	H30.9.20		38°10' 48"	139°58' 51"	○	H30.9.20
22	長井市	祝瓶山荘ルート中澤峰付近	20ほ		○									38°12' 32"	139°56' 26"	○	R2.11.5
23	長井市	祝瓶山荘～桑住平方面吊橋付近	254ハ		○			点検・補修						38°11' 33"	139°54' 13"	○	H28.7.21
24	小国町	赤鼻水場～大玉山間	2イ	○				点検・補修						38°12' 47"	139°53' 59"	○	H28.9.9
25	小国町	角櫓小屋～大玉沢出合手前	2ろ	○										38°13' 39"	139°52' 40"	○	H28.9.9
26	小国町	町道(五味沢～針生平)三枚沢橋付近	6の		○			○		R5.11.4点検	R5.11.4点検	H30.6.26	設置場所・座標確認要	38°12' 22"	139°49' 10"	○	R4.10.8
27	小国町	林道(石滝沢)最上流部橋より約500m地点	13に		○									38°09' 23"	139°49' 46"	○	H30.10.10
	東北局計				11	16											

【用語】 看板自体を新しくする＝「設置更新」 看板を補修する＝「看板修繕」 紐を新しくする＝「補修」 設置場所を移動する＝「移動」

【凡例】 ○＝良好 △＝補修が必要なもの ×＝更新が必要なもの、点検時確認できなかったもの －＝更新しないもの

朝日山地森林生態系保護地域説明看板(組立式及び大看板)の設置状況

資料2(表2)

朝日庄内森林生態系保全センター(令和5年11月24日現在)

記載番号	設置場所				現在状況		令和6年度の計画	経過				備考	
	市町名	設置箇所	林小班等名	参考事項	良好	使用可能		効果無し	R5年度	R4年度	R3年度		R元年度以前の状況
②	小国町	針生平大石橋(吊り橋)手前駐車場	4と林小班	平岩山への登山口で入り込みが多い。	○			組立式看板を設置・撤去。	組立式看板を設置・撤去した。	組立式看板を設置・撤去した。	組立式看板を設置・撤去した。	○H29年度旧看板を撤去し新型(組立式)看板を設置した。 ○H30年度組立式看板を設置・撤去した。 ○R元年度組立式看板を設置・撤去した。 ○R2年度組立式看板を設置・撤去した。	置賜署実施
③	白鷹町	愛染峠園地内	民地	黒鴨林道と大規模林道の交差位置で入り込み増を見込む。		○			案内板が外れ、木枠も腐朽してきているため、撤去予定。(案内板については、撤去済み)	黒鴨林道(民有地)は、災害復旧工事のため通行不可	枠の一部が腐朽しているが、使用は可能。	○H25年度コケがゴマ状に散らばり、文字が見にくくなり始めた。 ○R元年度現地確認出来ず。 ○R2年度枠の一部が腐朽しているが、当面は倒壊等は無い見込み。	黒鴨林道(民有地)経由のみアクセス可能(林道距離長く悪路のため、悪天候時は通行不可)腐朽のため、今後撤去予定
④	朝日町	朝日鉱泉の大規模林道駐車場	14ほ林小班	大朝日岳等の登山者、山菜採りの入り込みが多い。	○			組立式看板を設置・撤去。	組立式看板を設置・撤去した。	組立式看板を設置・撤去した。	組立式看板を設置・撤去した。	○H29年度旧看板を撤去し新型(組立式)看板を設置した。 ○H30年度組立式看板を設置・撤去した。 ○R元年度組立式看板を設置・撤去した。 ○R2年度組立式看板を設置・撤去した。	(5月16日設置) (10月24日撤去)
⑤	大江町	古寺鉱泉入り口駐車場	51か林小班	大朝日岳の主要登山口で50台駐車でき入り込みが多い。	○			状況確認を行う。	状況確認。支柱指示・文字盤とも維持	状況確認。支柱指示・文字盤とも維持	状況確認。支柱指示・文字盤とも維持	○H25年度コケ・虫の大量発生で文字が非常に見えにくい状況。 ○H26年度山形署の協力で清掃と補修を実施改善(防錆剤塗布含む)。 ○R2年度状況確認。支柱指示・文字盤とも維持	
⑥	西川町	日暮小屋駐車場	81口林小班	10台程度の駐車場があり、入り込みを見込む。	○			組立式看板を設置・撤去。	組立式看板を設置・撤去した。	組立式看板を設置・撤去した。	組立式看板を設置・撤去した。	○H29年度旧看板を撤去し新型(組立式)看板を設置した。 ○H30年度組立式看板を設置・撤去した。 ○R元年度組立式看板を設置・撤去した。 ○R2年度組立式看板を設置・撤去した。	日暮小屋駐車場入り口 (6月8日設置) (10月24日撤去)
⑦	西川町	大井沢林道終点駐車場	94い林小班	8台の駐車ができ大井沢障子ヶ岳を左回りで周回出来る登山口。	○			状況確認を行う。	状況確認。支柱指示・文字盤とも維持	状況確認。支柱指示・文字盤とも維持	状況確認。支柱指示・文字盤とも維持	○H26年度雪により天井柱が離脱し、今後破損の危険ある。 ○H27年度案内板上部をステンレス製木ネジ、ワッシャにより固定。損傷部分の補修を実施。 ○R2年度状況確認。支柱指示・文字盤とも維持	大井沢林道終点
⑧	西川町	バカ平登山道入り口	92は3林小班	大井沢から寒江山への登山口で、障子ヶ岳を右回りで周回もできる。	○			状況確認を行う。	状況確認。支柱指示・文字盤とも維持	状況確認。支柱指示・文字盤とも維持	状況確認。支柱指示・文字盤とも維持	○H25年度周囲からコケが侵入をはじめた。H26年度には一部文字が見えなくなることを想定。 ○H29年度点検の結果、継続設置する。 ○R元年度状況確認。支柱指示・文字盤とも維持 ○R2年度状況確認。支柱指示・文字盤とも維持	天狗登山口焼峰コース沿い
⑨	鶴岡市	八久和ダム鱒淵林道分岐点	9131林小班	鱒淵集落を入り口として、釣り人、山菜採りが訪れる場所である。八久和林道89林班入口より林道は橋崩落により通行不可。	○			組立式看板を設置・撤去。	組立式看板を設置・撤去した。	組立式看板を設置・撤去した。	組立式看板を設置・撤去した。	○H25年度雪圧による傾きはあるが安定しており、下部及び周囲からコケが侵入を始めた。H26年度には文字の一部が見えなくなる事を想定。 ○H26年度コケの進入は少なく遅い状況。 ○H29年度経年設置に伴い、腐朽や積雪による傾斜が進んでいる。(秋に旧看板を撤去し、来春新看板を設置予定) ○R元年度組立式看板を設置・撤去した。 ○R2年度組立式看板を設置・撤去した。	八久和林道からは、ダム堤体まで通行可能。 月山ダム方面からは、ノコトがな公園付近から通行止めにより通行不可。 (6月7日設置) (10月25日撤去)
⑩	鶴岡市	泡滝ダム下部の林道脇車回し	113ち林小班	泡滝ダムより800m下流に設置し、大鳥池、以東岳、大朝日岳縦走者の利用が多い。	○			組立式看板を設置・撤去。	組立式看板を設置・撤去した。	組立式看板を設置・撤去した。	組立式看板を設置・撤去した。	○H29年度に旧看板を撤去し新型(組立式)看板を設置した。 ○R元年度組立式看板を設置・撤去した。 ○R2年度組立式看板を設置・撤去した。	(6月8日設置) (10月25日撤去)

撤去済みの看板

旧①	小国町	大規模林道小国線トンネル出口付近	33い林小班	「おくに白い郷土の森」に通じる道で入り込みを見込む。								○H25年度雪圧で天井丸太が外れ動物が挟まり死亡。H25年10月置賜署森林事務所等により表示板を外し骨組のみを残し撤去。 ○H26年度春に天井丸太が落下し危険度が減少。 ○H29年度撤去。	朝日山地への登山道がなく、入山者も少ないため撤去
----	-----	------------------	--------	----------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--------------------------

②朝日山地保全作業（植生保護作業）について

1 大鳥池七曲り地区のロープ規制

鶴岡市泡滝ダムから以東岳に至るルートのなかでも、セツ滝から大鳥池へは、つづら折りに登る通称七曲りと言われていています。

この箇所では歩道はずれショートカットすることを防止するため、トラロープと標識を設置しています。

令和5年度は、7月5日に補修、標識交換を実施しました。

今後も植生保護のため、踏圧による植生の毀損が生じることの防止・予防を行う予定です。



ショートカット規制箇所（7月5日）



ショートカット規制箇所作業中（7月5日）

2 オツボ峰周辺地区のロープ規制

オツボ峰から以東岳にかけての山稜部は、風衝地でハイマツや高山植物等の植生が、厳しい環境のなかで生育しています。

登山者による踏圧等から植生を保護するため、ロープを張って歩道から植生地に立ち入らないよう規制しています。

令和5年度は、9月24日に朝日山地合同パトロールと併せ、実施しました。

今後も風衝地の植生保護のため、未設置個所の新設、破損個所の補修を行う予定です。



オツボ峰付近での作業（9月24日）



ロープ設置作業後の状況（9月24日）

③マツノクロホシハバチの対応について

朝日山地では、平成23年9月から大朝日岳周辺のハイマツで被害が目立ちはじめました。過去には北海道でキタゴヨウが、大規模な枯死被害が発生したこともあるため、経過を見守りつつ必要な場合は捕殺を行うこととしております。

今年度は10月3日～4日にかけて、大朝日岳周辺において朝日センター職員3名により、食害調査を行いました。

大朝日岳～西朝日岳方面及び大朝日岳～小朝日岳方面で確認を行いました。マツノクロホシハバチは確認されませんでした。

昨年度と比べ、気温が高くなった日もあった影響なのか、全く確認出来ませんでした。



ハイマツ（10月3日撮影）



令和3年度捕殺作業箇所(10月4日撮影)



ハイマツ（10月3日撮影）



ハイマツ遠景（10月3日撮影）

本年度は、例年と同じ時期に調査（昨年度は、1週間早かった）しましたが、山小屋の管理人にも話を聞いたところ今年は、マツノクロホシハバチは見ておらず綺麗にハイマツが生育しているとの事でした。

また、今年はマツノクロホシハバチの食害が無かったため安心してはいるところですが、単年だけの現象なのか引き続き監視活動を続けて行きます。

④オオハンゴンソウの対応について

1 五百川林道土場跡（朝日町 山形森林管理署29林班ち小班内）

ア) 経過説明

・平成29年度に、山形署29林班ち小班内(朝日町)の道路脇の土場跡地でオオハンゴンソウが確認されました。

・平成30年度8月に、山形森林管理署4名、当センター4名で根茎駆除作業を実施しました。

・令和元年7月に、環境省羽黒自然保護官事務所1名、東北森林管理局計画課3名、山形森林管理署3名、当センター4名で根茎駆除作業を実施しました。

・令和2年5月26日に、コロナウイルス感染拡大により防除作業を中止し、防除作業にかかる試験地（日当たり箇所・日陰箇所に無処理区、根茎駆除区、地上部処理区を各1プロット）の設定を行いました。

・令和2年度より、花で識別して駆除を行っていた関係上、7月～8月に作業をしておりましたが、駆除の効果が低く、再生数が多くなっていることから、十分に成長していない時期と思われる5月に、防除作業を実施することにしました。

・令和3年5月23日に、巡視員（山形県山岳連盟、小国の自然を守る会、山形県溪流釣り協議会）、環境省羽黒自然保護官事務所、山形県みどり自然課及び当センター職員で駆除作業を実施しました。

当日は、約500株のオオハンゴンソウを駆除しました。

・令和4年5月28日に、巡視員（出羽三山の自然を守る会、山形県山岳連盟、山形県溪流釣り協議会）、環境省羽黒自然保護官事務所、山形県みどり自然課、山形森林管理署及び当センター職員で駆除作業を実施しました。

当日は、雨の影響で合羽を着ての作業となりましたが、約2時間で約1,100株のオオハンゴンソウを駆除しました。

イ) 令和5年度の実施事項

i 駆除作業の実施

・令和5年5月27日に、巡視員（山形県山岳連盟、山形県溪流釣り協議会）、山形県みどり自然課、山形森林管理署及び当センター職員で駆除作業を実施しました。

当日は、約2時間で約400株のオオハンゴンソウを駆除しました。



駆除作業実施状況（5月27日）



駆除作業実施後（5月27日）

資料5

6月13日には、オオハンゴンソウの種子が飛散する前に、センター職員で駆除作業を実施しました。（約10株）

8月3日には、花が咲くころ確認したところ、残っている株がありましたので、センター職員で駆除作業を実施しました。（3株）



オオハンゴンソウ（8月3日）

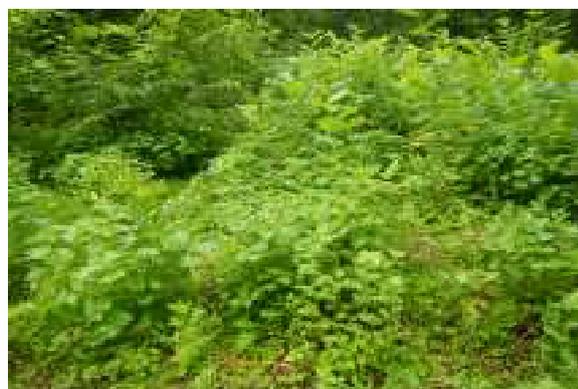


抜き取り後（8月3日）

特定外来生物「オオハンゴンソウ」駆除の取組については、山形新聞紙面でも記事として掲載されました（別添1）。

ii 駆除方法にかかる試験の実施

- ・令和2年5月に試験地を設定しました。
- ・試験プロットは、無処理区・根茎駆除区・地上部処理区を1セットとし、日当たり箇所と日陰箇所に各1プロット、計2プロット設定しました。



日当たり作業前（6月13日）



日当たり作業後（6月13日）



日当たり駆除個体（6月13日）



日陰駆除個体（6月13日）

iii 調査結果

・作業前の写真のとおり人の背丈を超える程の高さに繁茂すること、日当たりと日陰区で成長の優劣が出ないため、今後も根茎より処理する方法で作業を継続していくこととする。

2 白滝支線(朝日町 山形森林管理署 32 林班ぬ小班内、長年不通の林道脇)

ア) 経過説明

・令和2年8月26日当センター職員2名が巡視中に、山形署 32 林班ぬ小班の林道白滝支線で、これまで確認されていなかったオオハンゴンソウの生息地を確認しました。

- ・令和3年7月14日に当センター職員で駆除作業を実施しました。(約80株)
- ・令和4年6月14日、当センター職員で防除作業を実施しました。(約40株)

イ) 令和5年度実施事項

i 駆除作業の実施

- ・令和5年6月13日、当センター職員で防除作業を実施しました。(約50株)
- ・今後も、定期的に巡視を行い生育状況について観察していきます。



駆除作業中（6月13日）



駆除したものを運搬（6月13日）

3 令和6年度の取組

ア) 調査結果から、春期の根茎駆除作業の効果が高いと推定されるので、五百川林道土場跡においては、巡視員等を対象に募集し、駆除作業を実施します。

イ) 令和2年度に発見された、白滝支線では、カモシカが花を食べており、種子が含まれている場合は、糞により種子が拡散される可能性もあります。

ウ) 五百川林道土場跡及び白滝支線において、再生状況について、経過観察を続けていきます。

⑤森林生態系保護地域内の人工林から天然林への誘導手法について

朝日山地森林生態系保護地域の管理計画（平成 15 年 3 月設定）において、保全利用地区の人工林は、「針広混交林化を図るために必要な施業を行い、将来は天然林に導くこと」としています。

また、「保護林等における人工林の取扱いについて」（平成 27 年 2 月 25 日付け 26 東計第 81 号東北森林管理局長通達）で施業の留意点等が規定されており、これらに基づき、針広混交林化の取組を推進しています。

い 庄内森林管理署管内 116 林班い小班内における取組結果

ア 取組の概要（庄内署管内）

場所： 大鳥森林事務所管内 116 林班い小班内（平成 2 年スギ植栽）

面積： 0.08 ha（2 区画）

目的： 天然林への誘導にあたり、どのような更新補助作業等が有効かを検証します。

方法： 刈払い・つる切りを行う区域、刈払い・つる切り・除伐を行う区域、施業を行わない区域を設定し、広葉樹の成長状態、下層植生を比較します。

期間： 平成 28 年度～令和 2 年度

実施項目： ① 林床植生モニタリング調査（平成 28 年度～令和 4 年度）

② 更新補助作業（平成 28 年度～令和 2 年度）

③ 山取苗植栽（平成 28 年度～令和元年度）

④ その他（照度の測定等（令和元年度～令和 2 年度））

イ 林床植生モニタリング調査

令和 5 年 8 月 30 日山形大学農学部 菊池准教授、学生 7 名、庄内森林管理署 3 名及び朝日センター 3 名で調査を実施しました。

調査方法は、施業区プロット（10m×10m）6 箇所、無施業区（10m×10m）2 箇所で胸高直径 4cm 未満、樹高 1.5m 以上の広葉樹の成長調査を行った。胸高直径 4cm 未満、樹高 1.5m 未満の広葉樹は低木層と草本層に区分し優占度を調査しました。

令和 5 年の現段階では、設定時に生育していた稚樹が生育を続けていますが、更新補助作業の違いによる明確な成長状態の差や樹種の変化は見られておりません。



林床植生モニタリング調査（8月30日）



林床植生モニタリング調査（8月30日）



林床植生モニタリング調査（8月30日）



林床植生モニタリング調査（8月30日）

ウ 今後の取組

これまでの調査結果の取りまとめを行い、更新補助作業と広葉樹の成長状態について検討を行います。

山形大学農学部と連携し、林床植生モニタリング調査を継続します。



林床植生魚眼レンズ撮影（A1）



林床植生魚眼レンズ撮影（A2）



林床植生魚眼レンズ撮影（A3）



林床植生魚眼レンズ撮影（A4）